

虹色の谷から

第 31 号

2016. 09. 03
第二やすらぎの郷
(小浜市深谷10-1-4)

夏の思い出 リオの 抜けっけ 三ツ 高 駆け抜けた 夏の思い出

高等部3年生の杉原勇斗さん、木下雄太さん、大野良悟さんの三人にとっては学生生活最後の夏休み。

どんなふうに過ごせたのか、振り返ってみましょう。

7月10日、友愛会夏祭りに参加し、模擬店の焼きそばや綿飴を食べながら、音楽や太鼓の演奏、賑やかなステージ発表を楽しみました。

7月22日、バス旅行に出掛けました。行先は京都市の鉄道博物館です。新幹線やブルートレイン、SL列車がたくさん展示されていましたし、間近に鉄道ジオラマに接することができる等、わくわく、ドキドキの体験となりました。



☞鉄道ジオラマに大興奮

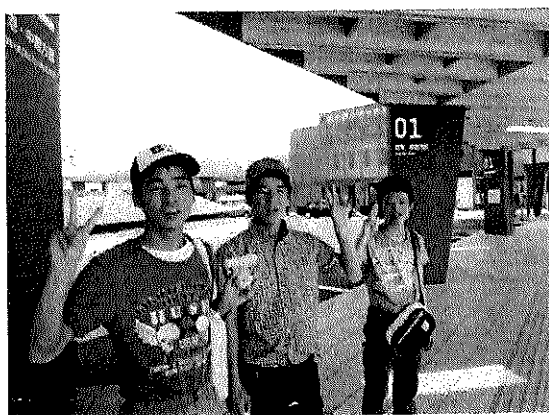
7月30日、嶺南西特別支援学校

の夏祭り、良悟さんは発表の大役を務めた後は、お母さんとまったり。焼きそば、かき氷、たこ焼き。ゲームに歌にダンス。リオに負けなぐらいの熱気を楽しみました。



☞学校の夏祭り会場にて

8月4日、「18歳の夏・最高の思い出を」と銘打って、日帰り旅行



☞装い新たな敦賀駅前にて

の企画。行先は敦賀市です。

三人だけで力を合わせ、JR小浜線の電車に乗って、敦賀駅に到着。期待と不安が入り混じる中、偶然見ることができた特急サンダーバードに大興奮。その後は、レストランで食事、カボスや100満ボルトで有意義な時間を過ごしました。

安心・安全は 専門的な職種の 連携から！

現在、第二やすらぎの郷では24名の職員が在籍しています。

一人一人の職員はそれぞれの立場から利用者さんに接していますが、その立場や職種から簡単に役割を説明してみましょう。

生活支援員…15名。成人の方の日常生活上の支援や身体機能・生活能力の向上に向けた支援や創作・生産活動に関わります。

児童指導員…2名。児童を親等の保護者に代わり、健全に成長するように生活指導します。

保育士…2名。児童指導員とともに児童の療育を担います。

看護師…1名。利用者さんの健康維持、疾病の予防、感染症の予防等に携わっています。

栄養士…1名。利用者の身体状況や栄養状態、利用状況などに応じた特別の配慮を必要とする給食管理を担っています。

宿直専門員…3名。入所型の施設では夜間の業務も大切で、施設の安全、維持管理を担っています。

これらの専門性を持った職員が在籍することで、利用者さんの安心や安全が生まれ、チームワークが図られることで、より機能性を持って、多くの課題の解決に対応していくことが可能となります。

※職員は一人二役の方もあり、合計人数は多くなっています。

☞友愛会交流の集い

10月15日(土)、小浜市のサンサンホームで開催します。今年はケチャップマヨネーズ?さん、かいつぶりよし笛さんのステージと作品展示で盛り上がりましょう。多数のご参加、お待ちしております。

☞復活、親子日帰り旅行

11月9日(水)、親子日帰り旅行を実施します。行先は兵庫県神河町、動物達と間近にふれあえる農村公園、神崎農村公園ヨーデルの森です。約10年ぶりの親子旅行、存分に楽しんでください。